

テーマ: 『 地域の自然や学校の自然との関わり合いを通した環境教育』

横浜市立 洋光台第四小学校

Tel. 045-833-1205

担当者: 五十嵐 和子



■実践内容:

本校は自然環境に恵まれ、敷地も広く栽培活動に利用できる花壇や畑もゆったりとれる。そのような環境のもと生活科、理科、総合的な学習、環境教育等で、栽培活動や飼育活動を行った。また、委員会活動では、ペットボトルやプラトップを集め環境・福祉に役立てている。例として写真に挙げたのは、社会科や総合的な学習と関連した田んぼでの米作りの実践活動である。個々の児童によるバケツ稲の栽培も同様に行った。

■実践成果:

栽培・飼育活動を通して、自然とのふれあいや仲間との協力・協働等の大切さを実感し、生命尊重の感性が育ちつつある。特に写真にあるように米作りの過程においては、土作りから悪戦苦闘の連続であったが、このような活動から、五感を通して得られるものは大きかった。

■実践ポイント:

昨今の児童の生活環境や社会状況を考えると、自然との共生や環境に配慮したうえでの体験的な活動が指導上、大事なのではと思われる。その意味で五感を働かせられるような場の設定をしていくのが重要であろう。